

ワールド・アライアンス・フォーラム in サンフランシスコで、 湘南アイパーク主催のデジタルヘルスピッチコンテストを実施

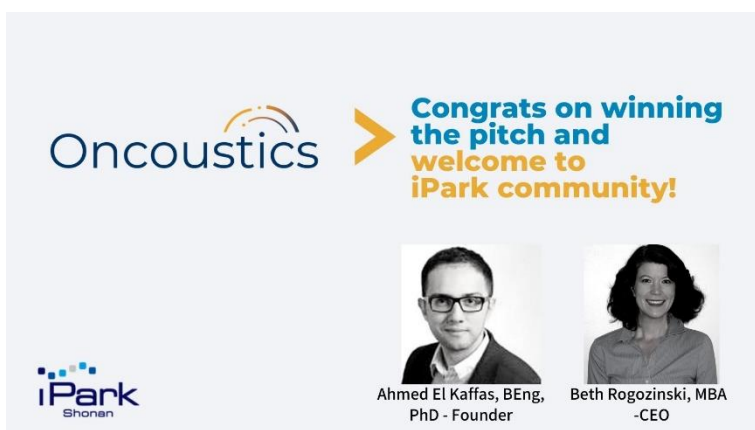
昨年 11 月に開催されたワールド・アライアンス・フォーラム in サンフランシスコ (WAFSF) のセッションの一つとしてアイパークが主催・運営した「ヘルスケア×デジタルピッチコンテスト」では、技術力とマーケットインパクトを基準に、デジタルヘルスベンチャーが選ばれました。優勝、準優勝の 2 社には、特典としてアイパークのメンバーシップ権が付与され、今後アイパークのさまざまなサービスを活用いただきます。本記事では、優勝企業である Oncoustics 社をご紹介します。



Oncoustics 社

今回優勝した [Oncoustics 社](#) は、肝臓疾患をはじめとした医療市場で、リアルタイム画像処理および低侵襲診断を可能とする AI 型超音波画像診断装置を開発している期待のベンチャーです。

Oncoustics 社の超音波装置は、肝臓疾患および前立腺疾患を適応症とし、米国（食品医薬品局 510(k)）、カナダ（カナダ保健省による医療機器ライセンス）および EU（CE マーク）で製造販売承認申請が提出される予定です。



同社 CEO のベス・ロゴジンスキー氏は日本市場への進出について、「日本からは、線維症、肝硬変、肝臓がんの治療に関する提携など、肝臓疾患や肝臓がん治療領域でエキサイティングなプログラムがいくつかあります」

Oncoustics

ultraInsight
In Clinic Diagnosis with Ultrasound and AI

Validated in Clinical Studies and Published Papers
Partnerships in Place
Planned Release of FDA Cleared First Product - 2021



「他国と同様に、日本でも肝臓疾患の治療に対するニーズは拡大していますが、効果的な治療を提供するにはまず効果的かつ効率的に診断を行うことが重要です。肝臓疾患は、アジア全体でも拡大しつつある大きな課題です。そのようなニーズに応えるため、日本に拠点を持つことは戦略的にも意味があると考えています」とコメント。

同社の装置は、すべての高リスク患者さんに対し、早期かつ簡便なスクリーニングと診断、そしていずれ

大多数の患者において肝生検に置き換わる可能性のあるポイント・オブ・ケア検査を提供できる可能性があります。

Oncoustics 社は、投資家や肝臓疾患に注力するバイオ医薬品企業とデジタル医療企業を含め、日本のさまざまな企業と関係を構築したいと考えており、ロゴジンスキーCEO は「湘南アイパークのコミュニティに参加するのを非常に楽しみにしています。このヘルスイノベーションパークのダイナミックでコラボレーション重視の風土は、当社が学び、成長し、そして日本の皆さんと強く有意義な関係を築くのに最適な環境です」と述べています。



審査員のコメント

山口充洋氏

第一三共株式会社 研究開発企画部（RD 企画グループ） 主査

「弊社でもデジタル・トランスフォーメーションを推進していますので、その可能性を考えるうえで、現在の世界最先端のレベルを体感できたことは、非常に有益でした。また、他の審査員の皆さんからは、科学技術面のみならず、商業面からの質問もあり、デジタルヘルスの実用化に至るまでの課題を把握することができ、勉強になりました」



「特に注視したのは、サイエンスやテクノロジーがしっかりしているかです。例えば、課題へのアプローチが適切か、データから導き出した予測が正確か、応用範囲がどれくらいあるか、などです。今年参加されたスタートアップの皆様は総じて非常にレベルが高いと感じました」

